

冬を快適に

# 雪に強いまち

11月10日 除排雪対策本部を設置  
今冬も、町会の自主排雪を支援

北海道内でも屈指の豪雪地帯の岩見沢。ここ2年は降雪量が少なかつたものの、まだまだ、ひと冬に7m以上の雪が降ることがあります。そんな冬が間もなくやってきます。

この雪の多い岩見沢に暮らす皆さんが、安全で、安心して、そして快適に過ごすことができるよう、市は、町内会や警察、公共交通機関などの関係機関と密接な連携を取り、雪に強いまちづくりに取り組んでいます。

今年も、いつ降雪があってもいいように、例年よりも5日早く、11月10日から除排雪対策本部を設置し、

除排雪全般にわたる計画と実施に取り組めます。対策本部は、今年2月23日から24日にかけて、最大瞬間風速27・5mにも達した暴風雪により、郊外の路線に、より多く発生した交通障害に対処した経験を踏まえ、気象条件に応じて、段階的に体制を強化する気象条件別本部体制となっており、冬期間の危機管理対応に万全を期します。

24時間体制

除排雪一一〇番

☎22局8400



平成20年度 道路除排雪予算

8億660万円

- 車道除雪延長 954.0 km
- 歩道除雪延長 129.7 km
- 運搬排雪延長 83.6 km
- 交差点カット排雪 245カ所
- 10トン級除雪専用車を1台購入  
郊外路線の除雪をスピードアップ

## 除排雪の出動基準

### 除

雪車は、午前7時までの降雪量が10cm以上になると予測される時に出勤し、通勤や通学に支障が出ないよう作業を行うほか、日中の吹雪や暖気などにより、車両の通行に支障が出る、と判断したときにも出勤し、路面をならしたり広げたりします。

また排雪は、積雪が1m程度あつて、今後の降雪によつては、歩行者や車両の通行に支障を及ぼすと判断したとき、市の計画する排雪路線に基づいて、幹線道路、バス路線および通学路等の排雪を実施します。

## 直轄機動班がきめ細かく

### 児

童・生徒からお年寄りまで、歩行者の安全確保を最優先に、地域の交通状況をパトロールなどにより的確に把握し、大型ロータリー車1台と除雪ドーザー1台が1組となつた市の直轄機動班が、交差点の見通し確保や吹き飛ばしによる道路拡幅など、小回りのきいた、きめ細かな除排雪を進めます。

## 町会の自主排雪を支援

### 市

が行う排雪は、交通量が多い幹線道路やバス路線、通学路

等を優先して実施するため、皆さんが住んでいる地域の住宅街の道路までに行うことができません。そこで皆さんが、冬をより快適に暮らすことができるように市は、自主的に排雪を実施する町会に、大型ロータリー車1台と除雪ドーザー2台を1組として派遣し、自主排雪を支援しています。

この自主排雪では、町会の皆さんは、雪を運搬するダンプトラックを確保するだけで良く、積み込んだ雪は市が管理する最寄りの雪堆積場に運搬することができるため、効率良く排雪を行うことができます。今年で5年目を迎えるこの制度



排雪前

排雪後



自主排雪後はこんなにも快適に

## 皆さんのご協力も

1 年間に7mも降る雪を克服していくためには、市民の皆さんの協力が欠かせません。

特に、除排雪の障害となる路上駐車や除排雪終了後の道路や歩道への雪出しなどは、事故の危険が増えるだけでなく、安全で円滑な通行の妨げにもなるため絶対に行わないでください。

市は、皆さんが安全で安心して快適に冬を過ごせるよう、関係機関と連携しながら雪対策に取り組んでい



も、年々利用する町会が増え、昨年は16町会で、排雪した延長は110kmを超えました。

きますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

## 年間降雪量の推移

